

さ し 木

枝、葉、根の一部を切り取り、発芽、発根をさせて新しい植物体をつくる繁殖方法の一つです。

さし木の種類

さし木の種類	適する植物
葉ざし	サンセベリア, ペペロミア, セントポーリアなど
茎ざし <ul style="list-style-type: none"> 芽ざし(さし芽) 緑枝ざし 熟枝ざし 	1・2年草, 宿根草
	春から伸び、硬化していない枝(新梢)を使用する方法。樹木一般
	完全に成熟硬化した枝を使用する方法。樹木一般
根ざし	茎ざしの困難なものに行われる方法。ナンキンハゼなど

さし木の用土

鹿沼土, 川砂, パーミキュライト, パーライト, 赤玉土など清潔で肥料分を含まないものを用います。

さし穂の取り方

親木の樹齢……親木は若いものほど良い。

さし穂の大きさ

草本類……………7~10cm

落葉樹の休眠枝……………15~20cm

常緑樹, 落葉樹……………10~15cm

さし穂の調整とさし方(図1, 2)

その後の管理

灌水……さし木当初は十分に, その後はさし穂のしおれ具合を見て次第に減らします。

日除け……半日陰で管理します。日陰のない場合は50~100cm上方にヨシズなどで日覆いを行います。

発根苗の移植

一般的に2~4週間で発根するので発根後は薄い液肥を施し, 2~3ヶ月後に移植します。

さし木の適期

樹種 \ 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
針葉樹			■					■		■		
常緑広葉樹			■			■		■		■		
落葉広葉樹			■				■		■		■	
			(休眠枝)				(緑枝)		(緑枝)		(熟枝)	

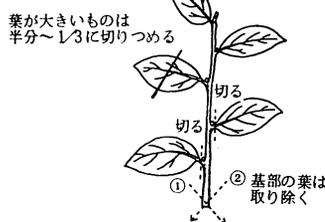


図1 緑枝ざしのさし穂のとり方

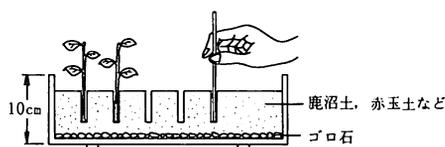


図2 箱ざし さし床に穴を開け, さし穂をさしてその後十分灌水する